



手を洗おう



消毒しよう



うがいをしよう



マスクをしよう



換気をしよう



うちで過ごそう

新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和4年11月1日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和4年11月29日(火)からオーダ開始します。

<予告>散剤・液剤の製剤量処方への移行のお知らせ

これまで当院では散剤・液剤処方時は、製剤に含まれる有効成分量(mg、mLなど)による成分量処方で行ってまいりましたが、令和5年2月9日(木)より製剤量(g、mL)処方に統一した運用に変更となる予定です。これに伴い入力単位及び一部の薬剤名の表示が変更になります。また、運用前の処方の流用ができなくなります。

例

	薬剤名	1日量	用法
現行	ウルソ顆粒 50 mg/g	150 mg	1日3回食後
運用変更後	ウルソ顆粒 5%	3 g	1日3回食後

製剤量処方開始後の処方入力時は、投与量に間違いがないか十分ご注意ください。

投与期間制限解除のお知らせ

- ◎エフメノカプセル 100mg(一般名:プロゲステロン) <天然型黄体ホルモン製剤> ※院外専用医薬品
- ◎サイバインコ錠 50mg(一般名:アプロシチニブ) <アトピー性皮膚炎治療薬(ヤヌスキナーゼ阻害剤)>
- ◎ソグルーヤ皮下注 5mg(一般名:ソマプシタン(遺伝子組換え)) <長時間作用型ヒト成長ホルモンアナログ製剤> ※院外専用医薬品

薬価収載後1年が経過するため、2022年12月1日から投薬制限が解除され長期投与可能となります。

効能・効果、用法・用量追加等のお知らせ

※改訂部抜粋、下線部追加又は改訂

- ◎献血グロベニン-I静注用5000mg(一般名:ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG) <血漿分画製剤(静注用免疫グロブリン製剤)>

【効能・効果】全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に
限る)

【用法・用量】通常、成人には1日に人免疫グロブリンGとして400mg(8mL)/kg体重を5日間点滴静注する。

- ◎フェマーラ錠2.5mg(一般名:レトロゾール) <アロマターゼ阻害剤>

【効能・効果】多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発、原因不明不妊における排卵誘発

【用法・用量】通常、レトロゾールとして1日1回2.5mgを月経周期3日目から5日間経口投与する。十分な効果が得られない場合は、次周期以降の1回投与量を5mgに増量できる。

販売中止のお知らせ

◎アシクロビル錠200mg「VTRS」(一般名:アシクロビル) <抗ウイルス化学療法剤>

販売中止予定時期: 現在出荷停止中 経過措置期間満了日: 2024年3月31日(予定)

◎クラリスロマイシン錠50mg小児用「マイラン」(一般名:クラリスロマイシン) <マクロライド系抗生物質製剤>

販売中止予定時期: 現在出荷停止中 経過措置期間満了日: 2024年3月31日(予定)

◎ベンテイビス吸入液10 μ g(一般名:イロprost) <肺動脈性肺高血圧症(プロスタグランジン₂誘導体制剤)>

※臨時採用医薬品

販売中止予定時期: 2023年12月 経過措置期間満了日: 2024年3月31日(予定)

禁忌追加・改訂のお知らせ

※追加部抜粋、下線部改訂

◎スピロラクトン錠25mg「TCK」(一般名:スピロラクトン) <抗アルドステロン性利尿・降圧剤>

【禁忌】 タクロリムス、エプレレノン、エサキセレノン又はミトタンを投与中の患者

◎メチルエルゴメトリン注0.2mg「あすか」(一般名:メチルエルゴメトリンマレイン酸塩) <子宮収縮止血剤>

【禁忌】 HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル、アタザナビル、ホスアンブレナビル、ダルナビル)、エファビレンツ、アゾール系抗真菌薬(イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール)、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、レテルモビル、5-HT_{1B/1D}受容体作動薬(スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン)、エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリンを投与中の患者

有効期間変更のお知らせ

◎ケシンプタ皮下注20mgペン(一般名:オファツムマブ(遺伝子組換え))

<多発性硬化症治療剤(ヒト型抗CD20モノクローナル抗体)>

【有効期間】 変更前: 24ヶ月 → 変更後: 36ヶ月

◎リツキシマブBS点滴静注100mg、500mg「KHK」(一般名:リツキシマブ(遺伝子組換え)[リツキシマブ後続1])

<抗CD20モノクローナル抗体>

【有効期間】 リツキシマブBS点滴静注100mg「KHK」 変更前: 24ヶ月 → 変更後: 36ヶ月

リツキシマブBS点滴静注500mg「KHK」 変更前: 30ヶ月 → 変更後: 36ヶ月

院内のヒヤリハット・インシデント報告より

同一の薬剤においても、投与方法・投与速度によっては、患者さんに副作用が出る可能性があります。薬剤を投与する場合は、指示簿等を確認し、投与方法や投与速度が正しいか再確認を行い、十分注意して投与するようお願いします。

院内副作用報告

院内において以下の副作用が報告されましたのでお知らせいたします。

医薬品名	副作用
エンタイベオ点滴静注	薬剤性間質性肺炎
ジェイゾロフト錠	SIADH
ピヴラッツ点滴静注液	胸水貯留、肺水腫

上記薬剤を使用する際には、副作用の発現にご注意ください。

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

◎スキサメニウム注 40「マルイシ」(一般名:スキサメニウム塩化物水和物)〈筋弛緩剤〉

出荷量: B. 出荷量減少 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷 (自社の事情)

◎チザニジン錠 1mg「日医工」(一般名:チザニジン塩酸塩)〈筋緊張緩和剤〉

出荷量: B. 出荷量減少 製造販売業者の対応状況: ③限定出荷 (他社品の影響)

◎デノシン点滴静注用 500mg(一般名:ガンシクロビル)〈抗サイトメガロウイルス化学療法剤〉

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷 (自社の事情)

◎点滴静注用ホスカビル注 24mg/mL(一般名:ホスカルネットナトリウム水和物)〈抗ウイルス化学療法剤〉

出荷量: A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況: ③限定出荷 (他社品の影響)

◎トアラセット配合錠「マルイシ」(一般名:トラマドール塩酸塩、アセトアミノフェン)〈慢性疼痛・抜歯後疼痛治療剤〉

出荷量: C. 出荷量支障 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷 (自社の事情)

◎ヒューマトロープ注射用 12mg(一般名:ソマトロピン(遺伝子組換え))〈遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤〉

※臨時採用医薬品

出荷量: C. 出荷量支障 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷 (自社の事情)

◎ラニラピッド錠 0.1mg(一般名:メチルジゴキシン)〈強心配糖体製剤〉

出荷量: D. 出荷停止

◎リマプロストアルファデクス錠 5 μ g「SN」(一般名:リマプロスト アルファデクス)

〈経ロプロスタグランジン E₁ 誘導体制剤〉

出荷量: C. 出荷量支障 製造販売業者の対応状況: ②限定出荷 (自社の事情)

【参考情報】日薬連発第 297 号 『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』
DI-EXPRESS (2022. 7) の「限定出荷等のお知らせ」からも確認可能

限定出荷等解除のお知らせ

◎アスベリン錠10(一般名:チペピジンヒベンズ酸塩)〈鎮咳剤〉

2022 年 10 月 18 日より出荷調整解除

◎クロピドグレル錠75mg「サワイ」(一般名:クロピドグレル硫酸塩)〈抗血小板剤〉

2022 年 11 月 8 日より出荷調整解除

◎サンディミュン内用液 10%(一般名:シクロスポリン)〈免疫抑制剤(カルシニューリンインヒビター)〉※製剤原料用医薬品

2022 年 10 月より供給再開

◎シオマリン静注用 1g(一般名:ラタモキシセフナトリウム)〈オキサセフェム系抗生物質製剤〉※臨時採用医薬品

2022 年 10 月 25 日より出荷調整解除

◎ジピリダモール錠 25mg「日医工」(一般名:ジピリダモール)〈冠循環改善剤・抗血小板剤〉

2022 年 10 月 20 日より出荷調整解除

◎チアブリド錠25mg「サワイ」(一般名:チアブリド塩酸塩)〈チアブリド製剤〉

2022 年 11 月 8 日より出荷調整解除

◎ハルシオン 0.25mg 錠(一般名:トリアゾラム)〈睡眠導入剤〉

2022 年 10 月 12 日より出荷調整解除

◎ラベプラゾール Na 塩錠 10mg「明治」(一般名:ラベプラゾールナトリウム)〈プロトンポンプ阻害剤〉

2022 年 9 月 12 日より出荷調整解除

オーダー変更のお知らせ

オーダー変更日	変更前		変更後
2022.10.12	セフトジジム静注用 1g 「マイラン」	→	セフトジジム静注用 1g 「VTRS」

当院採用鎮咳薬の出荷状況とオーダー状況のお知らせ

鎮咳剤につきまして、新型コロナウイルス感染症の影響等により、想定を超える需要の継続から、全国的に安定供給が厳しい状況が続いております。当院においても例外ではなく、月々の納品数が限定されており、厳しい入荷状況が続いております。

このような状況の中、特定の薬剤に処方集中した場合には、入荷が困難となる可能性が非常に高いため、処方薬を分散し、漫然とした使用を避け、必要最小限の処方をお願いします。

当院採用薬における現状の供給・オーダー状況を下記にまとめましたので、処方される際の参考にしてください。

【当院における鎮咳薬の処方状況(2022.11.8現在)】

薬品名	供給状況	当院オーダー状況
アストミン錠10 mg	限定出荷	9月29日より院内処方オーダーを一時停止(※院外処方可能)
アスベリン錠10	制限なし	制限なし
アスベリン散10%	限定出荷	制限なし
コデインリン酸塩散1%「第一三共」	制限なし	制限なし
デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10%「日医工」	一時供給停止	10月13日よりオーダー一時停止
フスタゾール糖衣錠10 mg	限定出荷	制限なし
メジコン配合シロップ	限定出荷	制限なし

【参考情報】日薬連発第297号『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』DI-EXPRESS(2022.7)の「限定出荷等のお知らせ」からも確認可能

『デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10%「日医工」』 オーダー一時停止のお知らせ

鎮咳剤『デキストロメトルファン臭化水素酸塩散 10%「日医工」』につきまして、製剤製造工程の頑健性を担保するため追加で試験を行うこととなり、それに伴い次回工場出荷が大幅に遅延する事が判明したため、一時供給停止となりました。そのため、院内在庫が欠品となったことから、10月14日より処方オーダーを一時停止致しました。

なお、本剤の当院採用代替薬は以下の薬剤となっておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、処方集中した場合には入荷が困難となる可能性が非常に高いため、処方薬を分散し、漫然とした使用を避け、必要最小限の処方をお願いします。状況によりましては、薬剤部から処方変更をお願いする場合があります。ご協力よろしくお願いします。

【当院採用の代替薬】

コデインリン酸塩散1%「第一三共」

メジコン配合シロップ

フスタゾール糖衣錠10mg

アスベリン錠10、アスベリン散10%

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

『ヒト CRH 静注用 100 μg「タナベ」』オーダ再開のお知らせ

視床下部・下垂体・副腎皮質系ホルモン分泌機能検査薬『ヒト CRH 静注用 100 μg「タナベ」』につきまして、製造委託先の製造機器の故障により販売企業の在庫が消尽し、出荷停止となったことから、2022年5月25日より処方オーダを一時停止しておりました。

この度、本剤の供給が再開したことから、10月20日より本剤の処方オーダを再開しました。

なお、安定供給が軌道に乗るまで、本剤は限定出荷となりますので、処方前に薬剤部へ在庫を確認し、計画的な使用を心掛けるようご協力お願い致します。

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 396

★医薬品副作用被害救済制度の概要と制度への協力をお願いについて

「医薬品副作用被害救済制度」（以下「本救済制度」という。）は、医薬品が適正に使用されたにもかかわらず副作用が発生し、それによる疾病、障害等の健康被害を受けた方を迅速に救済することを目的として、医薬品等製造販売業者の社会的責任に基づく拠出金等を財源とする公的制度として昭和55年に創設された。本救済制度の周知のため、その概要について紹介する。

★ペマフィブラートの「使用上の注意」の改訂について

今般、令和4年9月27日に開催された令和4年度第13回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会における審議等を踏まえ、ペマフィブラートの禁忌等に係る記載について見直しを行ったので、その内容を紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介する。

◎メトレキサート(商品名:メトレキサート錠2mg「トロー」、メソトレキサート錠2.5mg、注射用メソトレキサート5mg、50mg、メソトレキサート点滴静注液200mg, 1000mg) <葉酸代謝拮抗剤>

【副作用】 進行性多巣性白質脳症 (PML)

【重大な副作用】 本剤投与中及び投与終了後は患者の状態を十分に観察すること。意識障害、認知機能障害、麻痺症状（片麻痺、四肢麻痺）、構音障害、失語等の症状があらわれた場合は、MRIによる画像診断及び脳脊髄液検査を行うとともに、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※当該症例 6例（うち死亡 0例） 直近約 3年度

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<https://www.mhlw.go.jp/>）から確認可能。

☆Drug Safety Update No. 312 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
ロキソプロフェンナトリウム水和物（経口剤）（ロキソプロフェン錠「EMEC」）	※重大な副作用：一部改訂 中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN）、皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群）、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症
ペマフィブラート（パルモテア錠）	※禁忌：削除 血清クレアチン値が 2.5mg/dL 以上又はクレアチンクリアランスが 40mL/min 未満の腎機能障害のある患者〔横紋筋融解症があらわれることがある。〕 ※用法・用量に関連する使用上の注意：一部改訂

	<p>急激な腎機能の悪化を伴う横紋筋融解症があらわれることがあるので、投与にあたっては患者の腎機能を検査し、<u>eGFR が 30mL/min/1.73 m²未満</u>の場合は低用量から投与を開始するか、投与間隔を延長して使用すること。また、<u>最大用量は 1 日 0.2mg までとする。</u></p> <p>※慎重投与：一部改訂 eGFR が 30mL/min/1.73 m²未満の腎機能障害のある患者〔横紋筋融解症があらわれることがある。〕</p> <p>※重要な基本的注意：一部改訂 腎機能障害を有する患者において急激な腎機能の悪化を伴う横紋筋融解症があらわれることがあるので、投与にあたっては患者の腎機能を検査し、<u>eGFR が 30mL/min/1.73 m²未満</u>の場合は減量又は投与間隔の延長等を行うこと。</p>						
<p>リオシグアト（アテムパス錠）</p>	<p>※禁忌：一部改訂 アゾール系抗真菌剤（イトラコナゾール、ボリコナゾール）、HIV プロテアーゼ阻害剤（インジナビル、サキナビル）、ホムビタスビル・パリタプレビル・リトナビルを投与中の患者</p> <p>※併用禁忌：削除 リトナビル、ロピナビル・リトナビル、アタザナビル</p> <p>※併用注意：追記</p> <table border="1" data-bbox="395 842 1471 1025"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 842 552 875">薬剤名等</th> <th data-bbox="555 842 1121 875">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="1125 842 1471 875">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 880 552 1025">リトナビル含有製剤、アタザナビル</td> <td data-bbox="555 880 1121 1025">本剤の血中濃度が上昇するおそれがある。これらの薬剤を投与中の患者に本剤の投与を開始する場合は、1 回 0.5mg 1 日 3 回からの開始も考慮すること。</td> <td data-bbox="1125 880 1471 1025">これら薬剤の CYP1A1 及び/又は CYP3A 阻害により本剤のクリアランスが低下する。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リトナビル含有製剤、アタザナビル	本剤の血中濃度が上昇するおそれがある。これらの薬剤を投与中の患者に本剤の投与を開始する場合は、1 回 0.5mg 1 日 3 回からの開始も考慮すること。	これら薬剤の CYP1A1 及び/又は CYP3A 阻害により本剤のクリアランスが低下する。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
リトナビル含有製剤、アタザナビル	本剤の血中濃度が上昇するおそれがある。これらの薬剤を投与中の患者に本剤の投与を開始する場合は、1 回 0.5mg 1 日 3 回からの開始も考慮すること。	これら薬剤の CYP1A1 及び/又は CYP3A 阻害により本剤のクリアランスが低下する。					
<p>メトレキサート（メトレキサート錠、メトレキサート錠「トール」、メトレキサート点滴静注液、注射用メトレキサート）</p>	<p>※重大な副作用：追記 進行性多巣性白質脳症（PML）：本剤投与中及び投与終了後は患者の状態を十分に観察すること。意識障害、認知機能障害、麻痺症状（片麻痺、四肢麻痺）、構音障害、失語等の症状があらわれた場合は、MRI による画像診断及び脳脊髄液検査を行うとともに、投与を中止し、適切な処置を行うこと。</p>						
<p>イビリムマブ（遺伝子組換え）（ヤホイ点滴静注液） ニボルマブ（遺伝子組換え）（オプジーボ点滴静注）</p>	<p>※重要な基本的注意：追記 ぶどう膜炎があらわれることがあるので、眼の異常の有無を定期的に確認すること。また、眼の異常が認められた場合には、速やかに医療機関を受診するよう患者を指導すること。</p> <p>※重大な副作用：追記 ぶどう膜炎</p>						
<p>ヘムフィロスマブ（遺伝子組換え）（キイトラダ点滴静注）</p>	<p>※重大な副作用：追記 ぶどう膜炎</p>						
<p>イトラコナゾール（イトリゾールカプセル、イトラコナゾール内用液「VTRS」）</p>	<p>※重要な基本的注意：追記 低カリウム血症があらわれることがあるので、定期的に血中電解質検査を行うこと。</p> <p>※重大な副作用：追記 低カリウム血症</p>						

<別紙>新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計2品目)

2022年11月29日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	カテックス軟膏分包45mg 269	外用	5g/枚	-	57.7円/g	スミス・アンド・ネ フュー	Iodine 褥瘡・皮膚潰瘍治療剤(ヨウ素含有軟膏) ★ヨウ素濃度が0.9%製剤 ★基剤にカテキサーというポリマーを使用しており、当院採用ヨウ素含有製剤であるイン ジツユガーよりもさらに吸収性に優れているため、滲出液の多い創等への使用に有 用である ★厚さ2mmのシート状にした製剤で、適度な柔らかさを有しており、自由に成形ある いはカットできるため、様々な形状や深さの創にも適用しやすくなっている ★ガーセに展ばすなどの手間を省くことができ、処置の簡便化が図れる製剤である 【発売:2009/06/01】
1	サイハイコ 449	錠	50mg	劇	2587.4	ファイザー	Abrocitinib アトピー性皮膚炎治療薬(JAK阻害剤) ★本剤はATPとの結合を遮断することにより、JAKを選択的かつ可逆的に阻害す る経口投与が可能な低分子である ★2分子のJAKアイソフォームが介在してシグナル伝達が行われる細胞内では、JAK1を 介するサトカインのシグナル伝達を選択的に阻害し、JAK2のみが介在する受容体ある いはJAK2/TYK2が介在する受容体に対するよりも阻害活性が高い ★本剤はアトピー性皮膚炎に特化して開発されたJAK阻害剤であり、高い有効性が 期待できる 【発売:2021/12/13】

⑥臨時採用医薬品(合計7品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	セブリアンTRI水懸筋注シリンジ 117	注	525mg	劇	132,373.0	ヤンセンファーマ	Paliperidone Palmitate 持効性抗精神病剤 ★既存のハリパリドン4週間隔筋注製剤の製剤学的変更により、統合失調症患者に 対して12週に1回筋肉注射する持効性注射剤(LAI)である ★4週間隔筋注製剤による治療患者のみ使用可 ★2008年の統合失調症治療ガイドラインでは、再発予防には服薬継続が明らかに 有効であり、継続的な服薬が難しい例では患者への十分な情報提供と同意を前提 にLAIの使用が選択肢の一つになるとされている ★2017年の日本神経精神薬理学会の統合失調症薬物治療ガイドラインでも、服薬ア ドヒアランスの低下により再発を繰り返している患者では同意の下でLAIを使用する ことが望ましいとされ、患者がLAIを希望する場合にはLAIの使用が強く推奨されて いる ※同成分薬:セブリアン水懸筋注75mg・100mg・150mgシリンジが臨時採用薬として採 用あり 【発売:2020/11/18】
6	トレスバ注ペンフィル 249	注	300単位	劇 ハイリスク	1,604.0	ノボルティスク ファーマ	Insulin Degludec(Genetical Recombination) 糖尿病治療薬(持効型インスリン製剤) ★本剤は1日1回投与の持効型溶解インスリンアナログ製剤であり、1日1回投与でより 平坦でピークのない血糖降下作用を示し、その効果は24時間を超えて持続する ★ノボヘンエコーを使用することで0.5単位刻みの調整が可能となる ★フリースタイルセンサーリアルタイムに投与の履歴を残すことが可能になるため血糖管理と血 糖コントロール改善につながる ※同成分薬:トレスバ注フレックスタッチが常備薬として採用あり 【発売:2013/03/07】
6	ノボセブリンHI静注用シリンジ 634	注	5mg	生	398,849.0	ノボルティスク ファーマ	Eptacog Alfa(Activated)(Genetical Recombination) 遺伝子組換え活性化型血液凝固第VII因子製剤 ★本薬剤は第7因子の補充できる唯一の薬剤である ★現在、2mgの規格が採用されているが、使用頻度の関係から在庫が限られてお り、緊急かつ継続的に投与が必要となった際に十分量を確保できない問題点があ る ★5mgの規格は使用頻度が高く一定数の在庫が地方毎に確保されており、緊急時 の使用に適している ※緊急使用医薬品として購入歴あり ※他規格2mgが救急用医薬品として採用あり 【発売:2015/01/09】
6	バクタミニ配合 629	錠	スルファメトキサ ゾール 100mg トリメプリーム 20mg	-	33.7	塩野義	Sulfamethoxazole, Trimethoprim 合成抗菌剤 ★従来のバクタ配合錠は錠剤の大きさ、バクタ顆粒は顆粒の高さ、ざらつきに加え て両剤とも特有の苦みがあり、特に小児患者さんにおいては服薬時の苦痛が大き かった ★バクタ配合錠が直径11.0mmに対して、本剤は直径6mmの小型錠である ★本剤4錠がバクタ配合錠(従来品)1錠に相当する ★苦みをマスクするため、甘味料としてスクラロースを追加 ※同成分薬:バクタ配合錠、バクタ配合顆粒が常備薬として採用あり 【発売:2021/12/10】

9	エパシエルト筋注セット	注	チキサゲビマブ 150mg/シム カヒマブ 150mg	-	-	アストラゼネカ	Tixagevimab / Cilgavimab (Genetical Recombination) 抗SARS-CoV-2モノクローナル抗体 ★SARS-CoV-2による「感染症」と「感染症の発症抑制」の適応を有する ★「感染症」については重症化リスク因子を有し、酸素投与を要しない患者に投与 ★「感染症の発症抑制」については、SARS-CoV-2による感染症に対するワクチン接種で十分な免疫応答が得られない可能性がある者で、濃厚接触者ではない者に投与（今回の国からの供給はこちらの適応のみ） ★成人及び、12歳以上かつ体重40kg以上の小児が対象 ★本剤の中和活性が低いSARS-CoV-2変異株に対しては本剤の有効性が期待できない可能性がある 【特例承認:2022/9/27】
---	-------------	---	--------------------------------------	---	---	---------	--

【5】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

①緊急使用医薬品(合計2品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	エックワイブ 116	錠	50mg	劇	930.9	イーザイ	Safinamide Mesilate パーキンソン病治療剤 ★レボドパ含有製剤と併用する1日1回経口投与の薬剤 ★ドパミン作動性作用(MAO-B阻害作用)を主要な作用機序として効果を発揮する ★レボドパ含有製剤で治療中のwearing off現象を有する患者において、本剤投与により、日常生活に支障のあるジスキネシアを伴わない1日平均on時間増加、UPDRS Part III(運動機能スコア)(on時)スコアの改善が認められた ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2019/11/20】
11	レキニール HCa 2.5 腹膜 透析液 342	注	5000mL	-	1,988.0	バクスター	腹膜透析用剤 ★常備採用の1.5%濃度の腹膜透析液では、十分な除水が困難であり、2.5%濃度の本剤によって必要な除水が得られ、適正な体液管理が可能となる ※院外専用医薬品として採用あり 【発売:2014/2/14】

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)新型コロナウイルス感染症の影響等による処方オーダー停止について

- アストミン錠10mg(5.7円) → 2022年9月29日院内処方オーダー一時停止(院外処方可能)
- カロナール細粒20%(7.1円/g) → 2022年9月30日院内処方オーダー一時停止(院外処方可能)
※カロナール錠500を2022年9月30日から粉砕化・小数入力可へ

3)新型コロナウイルス感染症の影響等によるバラ包装品の追加購入について

- カロナール錠200(5.9円) → カロナール錠200(5.9円) 2022年9月22日払出し開始
※PTP包装 ※PTP包装+バラ包装

4)供給停止に伴う処方オーダー一時停止について

- デキストロトルファン臭化水素酸塩散10% → 2022年10月14日処方オーダー一時停止
「日医工」(7.3円/g)

5)供給停止解除に伴う処方オーダー再開について

- 2022年5月25日オーダー一時停止 → ヒトCRH静注用100μg「タナベ」(17107.0円) 2022年10月20日オーダー再開

6)病院戦略会議で承認された後発医薬品への入れ替えについて(2022年11月1日切替済)

別添資料【別紙1】参照

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハイリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)

後発医薬品への切替候補一覧

No	切替候補 現採用 医薬品名	製薬会社名
1	アリムタ注射用100mg	日本イーライリ
2	アリムタ注射用500mg	日本イーライリ
3	イーケブラ錠500mg	ユーシービーJ
4	イーケブラ錠250mg	ユーシービーJ
5	イーケブラドライシロップ50%	ユーシービーJ
6	イーケブラ点滴静注500mg	ユーシービーJ
7	エディロールカプセル0.75μg	中外製薬
8	サインバルタカプセル20mg	日本イーライリ
9	サインバルタカプセル30mg	日本イーライリ
10	ダイアート錠60mg	三和化学
11	ゼチーア錠10mg	オルガノン
12	ゼローダ錠300	中外製薬
13	ホスレノールOD錠250mg	バイエル
14	イトリゾール内用液1%	ヤンセンファーマ

⇒

切替候補 後発 医薬品名	製薬会社名
ペムトレキセド点滴静注液100mg「NK」	日本化薬
ペムトレキセド点滴静注液500mg「NK」	日本化薬
レベチラセタム錠500mg「サワイ」	沢井
レベチラセタム錠250mg「サワイ」	沢井
レベチラセタムDS50%「サワイ」	沢井
レベチラセタム点滴静注500mg「アメル」	共和薬品
エルデカルシトールカプセル0.75μg「トーフ」	東和薬品
デュロキセチン錠20mg「トーフ」	東和薬品
デュロキセチン錠30mg「トーフ」	東和薬品
アゾセミド錠60mg「DSEP」	第一三共エスファ
エゼチミブ錠10mg「サワイ」	沢井
カペシタピン錠300mg「ヤクルト」	ヤクルト
炭酸ランタンOD錠250mg「JG」	日本ジェネリック
イトラコナゾール内用液1%「VTRS」	ヴィアトリス